



外国人材に
選ばれる
熊本を目指して

Vol.10

事例紹介（6） －外国人が活躍する新たな職場

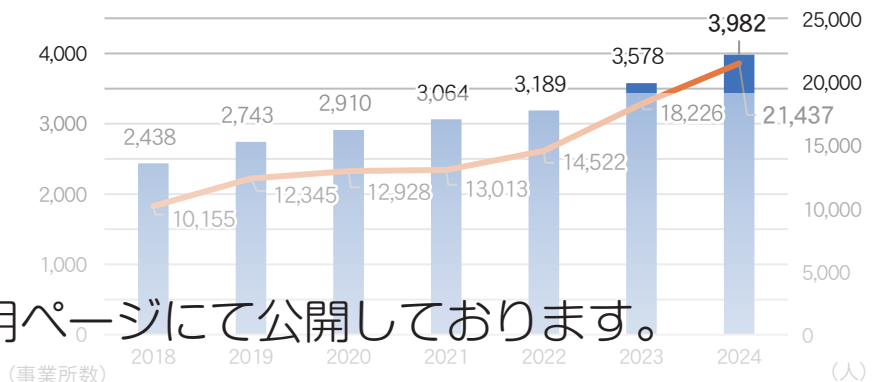
公益財団法人 地方経済総合研究所 特別研究員 前田 和則
 熊本学園大学 非常勤講師（日本語科目）
 専修学校 久留米ゼミナール 非常勤講師（キャリア教育科目・日本語科目）
 修士（文学）・修士（大学アドミニストレーション）



1 はじめに

1月末に最新の県内の外国人雇用状況の集計結果（2024年10月時点）が公開されました。外国人労働者数は21,437人、外国人を雇用する事業所数は3,982か所となり、2007年に届出が義務化されて以降、過去最高を更新しました（図表1）。外国人労働者の内訳を在留資格別で見ると、最も多いのが技能実習（10,758人）で、外国人労働者全体の5割を占めています（図表2）。また、業種別の上位1位～5位は、製造業（6,063人）、農業・林業（5,167人）、卸売業、小売業（2,320人）、建設業（2,175人）の順となっています（図表3）。

図表1 熊本県における外国人労働者数および外国人労働者を雇用する事業数の推移



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

アクセスをお願いします。

図表2 熊本県における外国人労働者の受け入れ人数および割合（2024年10月）



図表3 熊本県における外国人労働者の受け入れ事業所の産業別人数及び割合（2024年10月）

[ご入会はこちらから](#)

（入力は数分で終わります）

[会員の方ははこちらから](#)